

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教 科： 国語 科 目： 論理国語 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（ 数研出版「論理国語」（論国708））

教科 国語 の目標：
【知 識 及 び 技 能】実社会に関わりながらそれを向上させるために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力および他者との関わりの中での表現力、想像力やコミュニケーション力を深める。
【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値を深く認識し、自己を継続的に向上させながら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第一 学 期	A 弱いつながら 逆説/手の変幻 【知識及び技能】語彙 【思考力、判断力、表現力等】論 の展開 【学びに向かう力、人間性等】積 極性	・意味段落のまとまりを意識して読み、各段落の内容、および文章全体の構成をとらえる。 ・筆者の言う「弱い絆」をつくるにはどうしたらよいか、自分の考えをまとめる。 ・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	8
	B 逆説/胆力について 具体と抽象/「内的成長」社会へ 【知識及び技能】語彙と修辞 【思考力、判断力、表現力等】論 理的展開 【学びに向かう力、人間性等】協 調性	筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。 ・現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。 ・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。 ・「新しい普遍性」という表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連づけて考察する。 ・「無意識のバイアス」の内容を理解し、筆者が述べる問題点を踏まえたうえで、具体例をあげて論述する。 ・「政治」に関する二つの文章を関連づけて読み、自分の意見を述べる。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。「書くこと」において、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	C 具体と抽象/「具体」から「抽象」へ 言葉と創造/添削の思想 【知識及び技能】例示の技術 【思考力、判断力、表現力等】論 拠と主張 【学びに向かう力、人間性等】協 調性	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点がわかる具体的事例を日常生活の中から考える。 ・「添削」「推敲」についての筆者の考えと、近代芸術の問題点の内容をとらえる。 ・「添削」の役割について理解する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	8
	D 言葉と創造/国境を越える言葉 言葉と創造/【探究の扉】ニュースとコミュニケーション 【知識及び技能】例示の技術 【思考力、判断力、表現力等】論 拠と主張 【学びに向かう力、人間性等】積 極性	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・外国の言葉や表現を選び、それが表す概念とともに紹介する。 ・対談の文章を読み、それぞれの考えの共通点を読み取る。 ・「桶」という比喩に込められた意図について考える。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	E 近代と現代の視点/未来世代への責任 近代と現代の視点/〈近代〉の入口と出口の間 【知識及び技能】主張の根拠 【思考力、判断力、表現力等】特 徴的な表現 【学びに向かう力、人間性等】他 者理解	・環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。 ・「未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。 ・筆者が考える「問題の本質」の内容を論拠とともに読み取る。 ・「知識循環型社会」の実現のために必要なプロセスと実現に向けての課題について説明する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 推論の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	7

第二学期	F 近代と現代の視点/科学・技術の歴史の中での社会 近代と現代の視点/【探究の扉】科学の現場・科学と生命 【知識及び技能】対比の技術 【思考力、判断力、表現力等】具体と抽象表現 【学びに向かう力、人間性等】他者への共感	・科学・技術の歴史を読み取り、「『道具』としての意味合いを持った科学」の内容を的確にとらえる。 ・科学と社会との関わり方について自分の考えを深める。 ・「科学」について書かれた二つの文章の内容と表現の共通点と相違点を読み取る。 ・科学における「権威主義」について理解する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 推論の仕方について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	G 情報と社会/白紙 情報と社会/擬似群衆の時代 【知識及び技能】主張の根拠 【思考力、判断力、表現力等】具体から一般へ 【学びに向かう力、人間性等】継続性	・「不思議」を「当たり前」「前提」として、発展してきた知や技術の便利さと、原初的な不思議さ、試行錯誤から生まれる喜びとの違いを読み取る。 ・文章中の例示の内容を踏まえ、日常生活で見られる類例の例を述べる。 ・文章の内容を踏まえ、メディアと群衆現象の関係を整理する。 ・「待機する群衆」が潜在させている力について、自分の考えを述べる。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	H 情報と社会/消費されるスポーツ 言葉と思考/日本語は非論理的か 【知識及び技能】推論 【思考力、判断力、表現力等】事実と意見 【学びに向かう力、人間性等】継続性	・「メディア」と「スポーツ」の関係から活動の総体としての「社会」を導くという文章展開をたえる。 ・文章中の比喩表現や強調表現の内容を理解する。 ・文章内容をWEB記事の内容と関連づけて考察する。 ・筆者が言葉の使い方について「論理的」「非論理的」と表現する内容を理解する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
第三学期	I 言葉と思考/偶然とは何か 言葉と思考/野生の「クジラ」と人間の「鯨」 【知識及び技能】情報の活用 【思考力、判断力、表現力等】資料の理解 【学びに向かう力、人間性等】常識・理性	・人間の「必然」と「偶然」についての歴史的なとらえかたについて読みとる。 ・「偶然」の持つ価値について考えを深める。 ・自然の「普遍的価値」「多元的価値」と、筆者の考える「環境倫理」〈環境道徳〉の内容を読み取る。 ・筆者が危惧する現代社会の「食」について具体的な例を挙げて説明する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	J 文章の背景/「安楽」への全体主義 文章の背景/【探究の扉】現代日本の開化・漱石が生きた時代 【知識及び技能】主張と反論 【思考力、判断力、表現力等】論理構築力 【学びに向かう力、人間性等】創造性	・人々の精神状態を「安楽への隷属」と表現する筆者の意図を読み取る。 ・筆者の考えを踏まえ、現代社会についての自分の考えを具体例とともに論述する。 ・夏目漱石の講演録と、漱石の時代について考察した文章を関連づけて読む。 ・時代背景が人間や作品に与える影響について考え、論述する。 ・文章の筆者の意図をとらえ、批評する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	K 表現編/小論文を書く 【知識及び技能】主張の根拠 【思考力、判断力、表現力等】的確な表現へ 【学びに向かう力、人間性等】他者への配慮	・文章の組立てや進め方を工夫して書く。 ・自分や他の生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにする。 ・相互評価がもつ機能を認識し、自分の表現を改善する。 ・漢字テストの繰り返し学習によって語彙力を高める。	【知識・技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	○	○	○	5
							合計
							117